

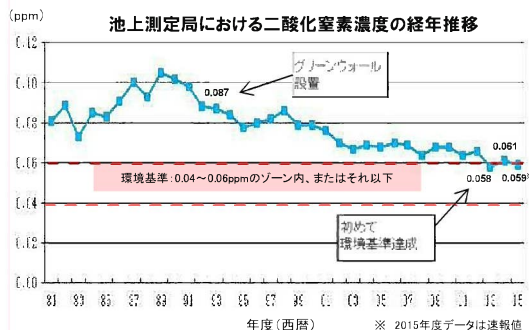
1 グリーンウォールについて

グリーンウォールは、池上測定局及びその周辺の大气汚染の改善を目指し、植物による大气浄化及び自動車から排出される窒素酸化物の移流抑制を目的として、平成5(1993)年に産業道路川崎臨港警察署前交差点から横浜寄り約250m区間において設置した沿道植樹帯及びツタを植栽した中央分離帯遮音壁です。



2 グリーンウォール(中央分離帯遮音壁)の改修の考え方

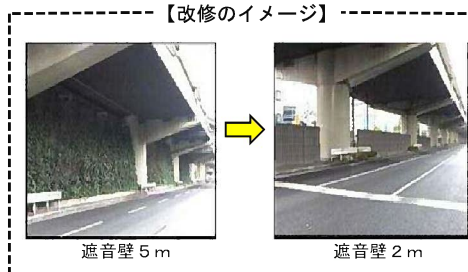
- グリーンウォールの設置当初は二酸化窒素濃度が高く、中央分離帯遮音壁により窒素酸化物の移流を抑制することで住宅地への影響が低減
- 近年は環境基準を達成するレベルまで二酸化窒素濃度が改善されてきたことから、あらためて中央分離帯遮音壁の効果のシミュレーション予測を行った結果、遮音壁の高さを変更することで沿道周辺の濃度低減が期待できることを予測
- このことから、グリーンウォール(中央分離帯遮音壁)の改修を計画



3 大気拡散シミュレーションの予測について

大気拡散シミュレーションによる予測では、グリーンウォール(中央分離帯遮音壁)の遮音壁を5mから2mにすることにより、道路上及び道路近傍における二酸化窒素濃度が低減

- 二酸化窒素濃度が道路上及び道路近傍で低減(池上測定局では、二酸化窒素濃度が約0.003ppm低減)
- 住宅地への影響に大きな変化は見られない



※ グリーンウォール(中央分離帯遮音壁)を改修した場合の池上測定局の環境基準予測値(2014年度データを基に試算)

	中央分離帯遮音壁		
	現況(5m)	改修後(2m)	低減値
二酸化窒素濃度(ppm)	0.061	0.058	(0.003)

◆ 大気拡散シミュレーションの予測結果

<冬季(主風向:北寄り)>



<夏季(主風向:南寄り)>



◆ 騒音レベルの測定結果



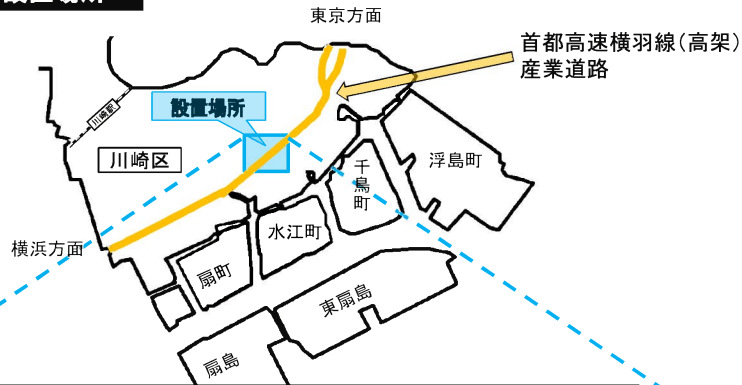
4 今後の予定

- 平成28年4月~5月:周辺住民等に説明を実施
- 平成28年11月~12月:改修工事を実施
- 平成28年11月、平成29年1月頃:二酸化窒素濃度及び騒音レベルの測定を実施(効果検証)

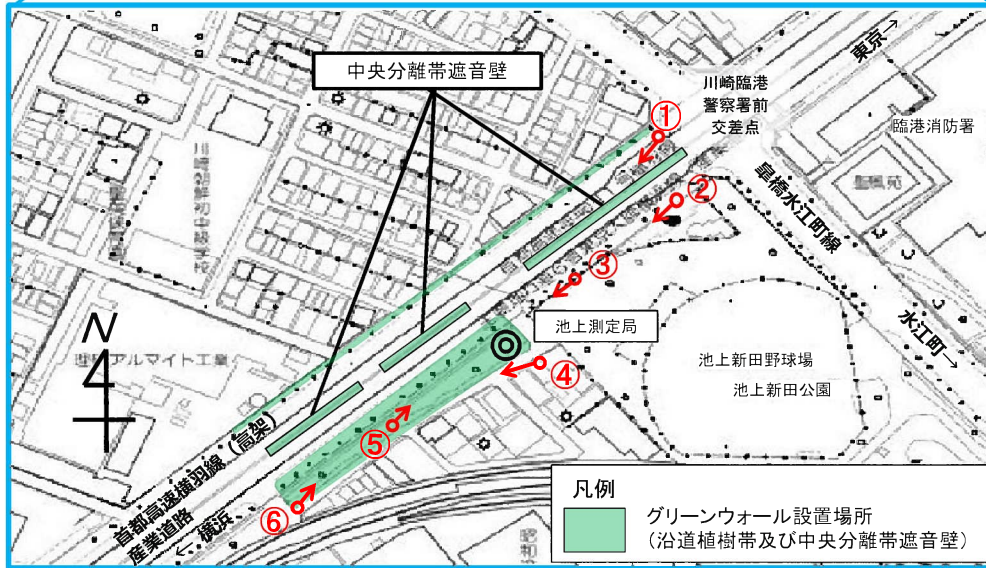
グリーンウォールの設置状況について

参考資料

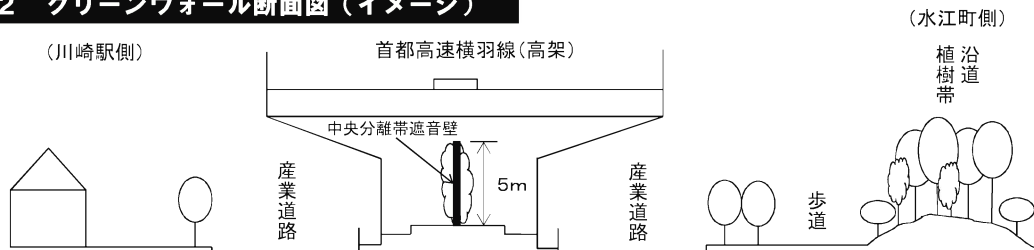
1 グリーンウォール設置場所



グリーンウォール: 産業道路の川崎臨港警察署前交差点から横浜寄り約250m区間において設置した沿道植樹帯及びビツタを植栽した中央分離帯遮音壁



2 グリーンウォール断面図(イメージ)



3 グリーンウォールの現況



地点①



地点②



地点③



地点④



地点⑤



地点⑥